

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第27回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2019年9月28日(土)に、京都大学宇治キャンパスにおいて、日本磁気学会第27回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を日本ボンド磁性材料協会と(株)高純度化学研究所のご後援を頂き開催しました。近隣の小学生向けに参加者を募集し児童35名とその保護者を合わせて約50名の方にご参加いただきました。

講演会は新妻総務理事の開講の挨拶ではじまり、講師としてお招きした東北大学の富田知志先生より「ふしぎ、おどろき、磁石の力」というタイトルで、磁石の原理から応用まで実演を交えてわかりやすくご説明をしていただきました。講演では身近にある磁石の紹介から始まり電気と磁気の関係に関して説明され、ご自身の研究テーマでもあるメタマテリアルなどの最先端の内容も紹介されました。子供たちも富田先生の面白いご講演に引き込まれ、講演中は多くの質問がありました。

講演終了後に子供たちは6班に別れて「動く液体？磁気スライムを作ろう！」、「磁石の不思議な模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!?」、「ネオジム磁石を使った玩具」、「磁石で音を鳴らしてみよう！」、「不思議体験、マグネットパワー!？」の計6コーナーを順番に体験しました。前回の公開講演会からご協力をいただいている日本ボンド磁石材料協会が実施した「ネオジム磁石を使った玩具」は、単極モーターを使った新しい玩具など前回よりも玩具の種類が更に増えており子どもたちにも大人気でした。また磁気スライムも例年通りに人気がありました。閉講式では、今回の講演や体験を通して磁石について学び磁石に詳しくなったということで、齋藤総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ贈呈しました。最後に齋藤総務理事からの閉講の挨拶を以って講演会の終了となりました。

今回参加いただいた児童と保護者の方々のアンケートから、これまでと同様に好評との結果をいただきました。富田先生の講演に対して参加した子供から「富田先生の話が面白かったです。磁石の歴史が分かって面白かったです。28回もここでしてほしい！」や「磁気について、身近な視点から教えてくれてすごくわかりやすかった」などのコメントがあり子供に大人気でした。また保護者の方から「娘にも富田先生のように子供に興味を持って聞いてもらえるよう話ができる人になってもらいたい」や「子どもたちにはまだ少し早かったかもしれませんが、体験コーナーが楽しかったようで良い思い出になりました」とのコメントもあり大盛況でした。今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童および保護者も多く講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。

今回の公開講演会は京都大学の小野輝男先生と森山貴広先生、京都大学小野

研究室の学生の皆さんおよび学会事務局スタッフには準備から開催、後片付けに至るまで御尽力いただき、滞りなく終えることができました。総務委員一同心より感謝いたします。紙面を借りてお礼申し上げます。次回は、2020年8月に首都圏での開催を予定しています。皆様お引き立ての程よろしく願いいたします。

(総務幹事:田中雅章)



富田先生による講演



富田先生による渦電流の実演



不思議体験、マグネットパワー!?



ハードディスクを分解しちゃった!?



動く液体? 磁気スライムを作ろう!



「じしゃく博士」認定証の贈呈